

事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	土木部道路建設課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	大塚 正道
事業群名	③ 生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充	事業群関係課(室)	道路維持課

1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

昨今の道路整備には、異常気象や少子高齢化、さらには、道路構造物の老朽化など多様な対応が求められています。このため、県民の安全で安心かつ快適な暮らしを確保する国県道の整備や防災対策、交通安全対策、交通円滑化対策、沿道環境・景観対策、長寿命化対策など生活に密着した道路整備を計画的に推進します。

事業群指標	最終目標 (H28~32)	基準値 (H28)	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】 長崎県総合計画(2011-2015)における国県道の供用延長45.9km(本土:26.3km、離島19.6km)に対し、51.1km(本土:29.6km、離島21.5km)と目標どおり進捗が図れている状況。
国県道の供用延長(累計)	37.3km	—	10.6km	—	
事業群の進捗状況					

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

《取組項目及び現状と課題》

i) 国県道の整備促進

・県土の大半を占める離島・半島地域をはじめとする地方部の日常生活の利便性・快適性向上や産業振興などを図り、定住支援を進めていくことは、地方創生を実現していくうえで極めて重要である。そのうえで、国県道の整備を進めることにより下記項目について支援を行う。

①幅員が狭くすれ違いができない区間や線形が屈曲した区間などの改良として、バイパス整備や道路拡幅などを進め、日常生活の利便性・快適性の向上を図り、生活環境の改善を支援する。

②第1次産業などの生活拠点や観光地と空港・駅・港湾を結ぶ道路、観光地間を結ぶ道路、地域と第二次救急医療施設を結ぶ道路などの交通円滑化を図り、第1次産業の競争力向上、交流人口の拡大、救急医療体制の強化などを支援する。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率		
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—		
取組項目 i	道路整備事業(公共)	H28-32	12,194,093	575	—	道路利用者	「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、県道の整備を国庫補助事業で実施した。	活動指標	事業箇所数(箇所)	55	55	100%	・H27に(主)佐世保吉井松浦線(大渡工区)、(主)棧敷原小茂田線(上見坂工区)が完成。 ・H28は(主)野母崎宿線(茂木工区)等の完成を図り、整備促進を行う。	○
	道路建設課		15,924,498	338	—			成果指標	整備延長(km)	6.8	6.8	100%		
	道路整備事業(単独)	H28-32	2,613,464	35,913	77,337	道路利用者	「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、県道の整備のうち、短区間の視距改良や路肩拡幅等の小規模な整備を県単独事業で実施した。	活動指標	整備延長(km)	3.8	3.8	100%		
	道路建設課		3,758,287	2,102	77,424			成果指標	交通支障箇所数の解消(箇所)	37	21	56%		
	道路改良調査費	H28-32	57,997	57,997	5,639	道路利用者	今後の新規事業箇所において、必要性の整理やルートの検討、現地調査等を行うことで、計画的な整備を行うとともに、事業化後の問題点解消を図った。	活動指標	調査箇所数(箇所)	3	3	100%	・H27は計画した新規事業箇所について、予定通り採択。 ・H28も引き続き、計画的な新規事業化を行っていく。	
	道路建設課		40,000	40,000	5,645			成果指標	新規箇所数(箇所)	4	6	150%		
	みちづくりスクラム事業費	H27-	6	6	0	道路利用者 (対馬市)	重要な幹線道路ネットワークのうち、代替となる市町道の整備を支援することで、地域振興や防災機能向上等を支援した。	活動指標	事業箇所数(箇所)	1	1	100%	・H27は工事着手のための委託を予定通り実施。 ・H28は用地取得に着手し、早期供用を図っていく。	
	道路建設課		241	241	0			成果指標	道路進捗率(%)	5.6	5.6	100%		
	原発避難道路調査事業費	(H27終了) H27	5,000	5,000	0	道路利用者	原子力災害発生時に想定される避難道路について、避難シミュレーション結果等を基に、より安全、円滑な避難が可能となるよう避難時に発生する問題点、課題を整理し、対応策について検討を行った。	活動指標	調査箇所数(箇所)	6	6	100%	・H27は、走行性や利便性などの観点から道路の調査を行い道路構造の現状が把握できた。H28は今後の対応(線形不良箇所の改善など)を関係県市町へ報告し調整を図る。	
	道路建設課		—	—	—			成果指標	問題点・課題整理及び対応策の検討(1式)	1	1	100%		

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

i) 国県道の整備促進

○道路整備事業(公共・単独)、道路改良調査費

・公共事業、単独事業とも道路改良調査費等を活用し、予定どおり整備促進が図れている状況。

しかしながら、本県はほとんどが離島・半島で構成され、山間部が多いことから、全国に比べて約5%道路整備が遅れている状況。

・単独事業の交通支障箇所数の解消の進捗が約56%となっており、要因としては用地取得の遅れによる事業進捗の遅延であるが、取得が済んだ箇所については今年度工事を行っている。

○みちづくりスクラム事業費

・H26～H27については、予定通り測量・調査・設計を実施したが、対馬島内において、近年外国人観光客の増加に伴い当該区間の交通量が増加しており、H28に整備区間やルートの見直しが必要である。

○原発退避道路調査事業費

・H27の委託業務で問題点の整理や対応策の検討は完了。走行性や利便性など調査を行った結果、把握できた線形不良箇所等については関係区市町へ報告し今後の対応(カーブや狭隘箇所の解消)について調整を図ることが必要である。



4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】

【個別事務事業の見直し】

問題点解決に向けた方向性	個別事務事業の見直し		見直しの方向	見直し区分
	事務事業名	事業精査の視点		
i) 国県道の整備促進 ・整備延長については、概ね計画通り道路整備を進めているが、交通支障箇所数の解消については進捗が遅れているため、各現場における用地取得の推進を図るとともに、今後も事業の必要性や整備の優先順位を精査し、道路整備を推進する。	道路整備事業(単独)	①	交通支障箇所数の解消(成果指標)が遅れているため、地元市町村等と協力しながら、交渉回数を増やし用地取得を図ることでH28年度に改善できるよう努める。また用地取得状況を勘案して、全体的な整備の優先順位を精査し、事業進捗を図る。	改善
	道路改良調査費	①	道路整備が遅れている状況であるため、計画的な新規事業化は必要不可欠であることから、事業の必要性や整備の優先順位等を今後も精査し、道路整備を推進する。	現状維持
	みちづくりスクラム事業	⑤	関係市町村である対馬市と協議を進め、事業の必要性を整理したうえで、H28年度には事業区間やルートについて検討・決定を行う。	改善